



静岡県平和・国民運動センター レポート

2015年
第3号

静岡県平和・国民運動センター

〒422-8067 静岡市駿河区南町11-22 静岡労働会館2階

TEL 054(282)4121 FAX 054(284)0191

E-mail: s-heiwa@cy.tnc.ne.jp

浜岡原発も、全国の原発も、再稼働させない 「3・11 さようなら原発 1000万人アクション静岡集会」に150人

東日本大震災・福島第一原発事故からちょうど4年となった3月11日、静岡市葵区の青葉公園で、静岡県平和・国民運動センター、原水爆禁止静岡県民会議、静岡県勤労者協議会連合会の3団体は、原発の再稼働に反対する「3・11 さようなら原発 1000万人アクション静岡集会」を開催し、県内各地の市民団体や労働組合のメンバーら約150人（主催者発表）が集まりました。



集会終了後、「フクシマを忘れないぞ」、「浜岡原発再稼働反対」などとシュプレヒコールしながら、静岡市中心街をデモ行進する参加者ら＝3月11日19時00分、静岡市葵区呉服町



主催者あいさつをする渡邊敏明会長

県平和センター立花賢司幹事の司会により、集会の冒頭、東日本大震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく、1分間の黙とうを捧げ冥福をお祈りしました。

主催者あいさつで、静岡県平和・国民運動センターの渡邊敏明会長は「東日本大震災から4年が経つが、復旧は進んでいません。福島原発周辺の10万人以上の皆さんが、福島県内外へ避難を余儀なくされています。そして、いつ故郷へ帰れるのかもわからない状況にあります。静岡もまた浜岡原発があるので、福島のように



連帯のあいさつをする佐野けい子さん(写真上)と赤堀ひろ子さん

な事態にはさせないように、浜岡原発を再稼働させない、全国の原発も再稼働させないために、全国の仲間と連帯して脱原発を進めていきましょう」と訴えました。

原水爆禁止静岡県民会議の橋本勝六代表委員は「東日本大震災にともなう福島原発事故により、地域コミュニティが崩壊し、避難生活を余儀なくされた方も、将来の生活不安を抱え、孤独死する人や自殺者も多く出ています。こうした原発事故を再び起こさないということは、原発を動かさないということでもあります。全国の世論調査でも過半数が原発再稼働に反対であるわけであり、私たちの運動は、国民からみると多数派です。このことを確認し合いながら、脱原発への道、再生可能エネルギーへの道をしっかりと求めながら、自分たちの子や孫に負担を負わせないような運動をしていきましょう」と訴えました。

静岡県勤労者協議会連合会の福井豊事務局長は「原発事故から4年が経ちますが、未だに原子炉内の状況や事故原因もわかっていません。原子炉格納容器からの放射能放出も止まず、汚染水も増加する一方であります。静岡県も東海地震の震源域に浜岡原発が立地しています。脱原発と再生可能エネルギーへの転換の実現に向け、みなさんと共に闘っていく決意です」と語りました。

主催者あいさつに続いて連帯のあいさつで、浜岡原発を考える静岡ネットワーク代表の佐野けい子さんは「安倍政権は原発を止めるどころか、推進する、海外へ輸出するというばかげたことを考えている政権です。今年は、再稼働は絶対にさせない、原発を廃炉にするのだという国民の思いや願いの分かれ道になります。私たちがこれからやれることはいっぱいあると思います。私たちは原発を廃炉にするため、皆さんと一緒に闘い抜いていく覚悟です」と訴えました。

また、生活クラブ生活協同組合静岡顧問の赤堀ひろ子さんは「私たち、母親にとって一番気になるのは“放射能”です。今、フクシマは4年が経ち、子どもの甲状腺ガンがものすごい勢いで増えています。放射能の影響をいちばん受けるのは、子どもたちです。未来のいのちです。私たち、母親としても、共に生きるためにも闘い続けなければならないと思っています。原発はいりません。原発は平和利用ではありません。今を生きる現代の人たちの贅沢のために、10万年もの先の未来を生きる人たちに、こんな負の遺産を残してはいけません。それが私たちの役目であると思います。そのために闘い続けましょう」と訴えました。

そのあと、福島県浪江町から富士市へ避難している堀川文夫さんのメッセージを、県平和・国民運動センターの大塚正訓副会長が読み上げました。

集会の最後に、集会アピールを全印刷局労組の杉山真裕子さんが読み上げ、集会参加者全員の拍手をもって採択しました。

集会アピールのあと、静岡県平和・国民運動センター渡邊敏明会長の団結ガンバローで集会は終了しました。

集会終了後、参加者は「フクシマを忘れないぞ」、「浜岡原発再稼働反対」などとシュプレヒコールしながら、静岡市中心街をデモ行進しました。